



新橋小学校

学校だより

令和2年3月2日
令和元年度 第11号

新学習指導要領に込められた思い

校長 樋渡 典子

校長室の窓は南西の方向を向いています。昼過ぎると西に傾いていく太陽から力強い陽ざしが差し込みます。夏は厳しいものがありますが、冬は太陽のありがたさを感じます。「最強寒波到来」と言われる日でも、午後になるとエアコンのスイッチを切るほど室内はぽかぽかです。そんな西日を感じる時間帯が日に日に長くなっています。季節は春へと移っているのですね。

4月になると小学校では改訂された新しい学習指導要領が完全実施されます。学習指導要領とは、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度改訂されますが、今回の改訂の大きな特徴の一つは、10年先の未来を見据えて作ったというところにあります。AIの進化、グローバル化などにより、社会は予測を超えた速さで変化しています。予測できない未来を生きるために、子ども達には、多様な人々と協力し、持続可能な未来を切り拓いていくための資質・能力が求められています。そのために必要な資質・能力を地域社会と共有・連携しながら育んでいこうという考えがこの学習指導要領に込められています。現在までの指導要領は、知識や技能の内容に沿って教科等ごとに体系化されていましたが、今後はさらに、教育課程全体で子どもにどういった力を育むのかという観点から、「何を理解しているか、何ができるか」(知識及び技能)「理解していることやできることをどう使うか」(思考力、判断力、表現力等)「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」(学びに向かう力、人間性等)の3つの資質・能力をバランスよく育成していきます。

具体的な取り組みの一つに「プログラミング教育」があります。小学校でのプログラミング教育のねらいは、プログラミングの言語を覚えたり技能を習得したりすることだけでなく、プログラミング的思考(論理的思考)を育むことであり、各教科の学びをより確実なものとするために、ICT機器を活用する時間もあります。本校では4月からの完全実施に向け、職員研修を行ったり、外部機関と連携して体験授業を行ったりしています。パソコンルームは、一人ひとりが自分のペースで学習を深めるだけでなく、子ども達が相互に考えを共有したり協働作業したりできるようになり、興味をもって学習に取り組めるよう整備し直しました。iPadやタブレットパソコンも1クラスで一人1台使えるようになりました。今後も授業研究や研修会など、研鑽を重ねていく予定です。「来年度からの学習指導要領は何が変わるのか知りたい」というご意見を学校評価の中に頂きました。次年度の学校説明会、お便り、授業参観などで少しずつお示しできたらと考えております。

今年度も残りわずかになりました。保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。来年度も子ども達の笑顔があふれる1年間になるよう進めてまいります。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

